

その他の金属製品製造業における木材、竹材を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	工作中作業場で材料の片付けをしている時に、板で右手人差し指を挟んでしまった。	17	1～9
3	13～14	工場ブラスト作業室のドア（出入口）をブラスト室内から養生をするため、養生用のベニヤ板（1800×1000×10、重さ約10kg）を段取りする際、移動させる為に台車（高さ600）に積もうとして両手でベニヤ板を抱え上げようとした時、右膝に鈍い痛みを感じた。膝に違和感を覚えたものの、挫っただけだと思い様子を見ていたが、日増しに痛みが激しくなってきた、靭帯損傷との診断を受けた。	42	100～299
5	2～3	工場内で積み上げられたT字鋼（長さ約6m、重さ約280kg）をクレーンで吊り上げた時、積み上げられたT字鋼がバランスを崩して両足に落下し、右足の外くるぶしを骨折し、左足を打撲した。	67	1～9
7	11～12	当社の工場で、製缶作業中足元に置いてあった盤木に気付かず、端を踏んで右足首をねじったため、骨折した。	49	10～29
9	13～14	当組合の加工工場内において、鉄筋加工材の仕分け中に、鉄筋と鉄筋の間にあるまくら木から誤って加工材が落ち、左手小指第一関節が挟まれて骨折した。	43	1～9
12	15～16	工場内にてトラック（4t）へ荷を積み込んでいる最中に、荷台の中を確認しようとしたところ高さが足りず、近くに置いてあった大きさ6cm四方の盤木（フォークリフトの爪が入るよう荷物の下に置く木）に足をかけたとき、バランスを崩して右足首を捻挫した。	42	10～29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)